

兵庫県丹波篠山市における基本計画の概要

計画のポイント

城下町や温泉、丹波焼や丹波篠山黒大豆等の観光資源を活用し、食と農の連携による新しい産業の育成や、宿泊施設も含めた観光資源のネットワーク化により、観光客の滞在時間を伸ばし、さらなる付加価値を生み出していく。また、新しい観光ルートを開発するなど周遊性を高め、産業の成長を目指す。さらに、プラスチック製品、電子部品、食料品、金属製品の製造業の誘致を進めるとともに、丹波焼など伝統工芸産業の振興を図り、付加価値額の増加と地域雇用の拡大を目指す。

促進区域

兵庫県丹波篠山市

経済的効果の目標

1件あたりの平均5,380万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を5件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.5倍の波及効果を与え、促進区域で4.0億円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～②のいずれか）】

- ①丹波篠山市の城下町や温泉、丹波焼や丹波篠山黒大豆等の観光資源を活用した観光・文化・まちづくり分野
- ②丹波篠山市の食料品製造業、プラスチック・電子部品・金属製品等の製造業の集積を活用した成長ものづくり分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：5,380万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上：1%以上増加
- 雇用者数：1%以上増加
- 雇用者給与等支給額：1%以上増加

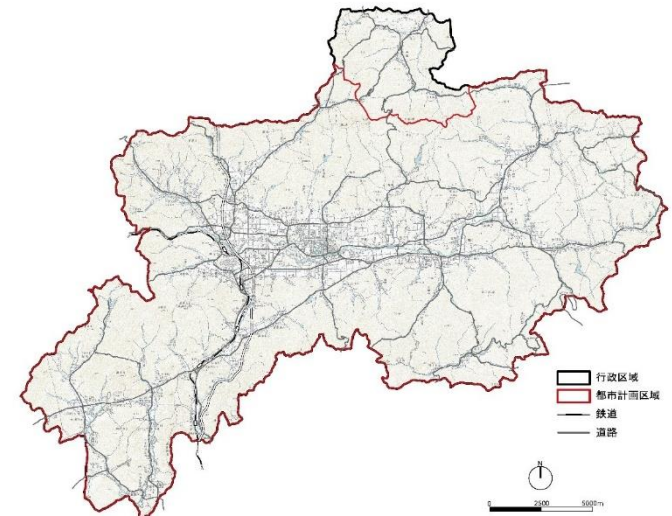
制度・事業環境の整備

丹波篠山市企業立地及び雇用促進に関する条例制度（工場等施設整備奨励金、雇用促進奨励金など）、地方創生関連施策、オープンデータの推進、相談体制の整備など

地域経済牽引支援機関

（公財）ひょうご産業活性化センター、兵庫県立工業技術センター、ひょうご・神戸投資サポートセンター、丹波篠山市商工会、市内金融機関

《促進区域図》



食と農の工房団地イメージ図



江戸時代のたたずまいが残る篠山城下町

計画期間

計画同意の日（平成30年9月28日）から令和5年度末日まで